

迎春

No.6

# わかやま

和歌山県精神保健福祉センターだより 2001年1月

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319

和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

電話(073)435-5194 FAX(073)435-5193

## 「新世紀を迎えて」

和歌山県精神保健福祉センター 所長 朝井 忠  
職員一同

新世紀明けまして おめでとうございます

1998年12月に精神保健福祉センターが、県民の皆さんにより利用して頂きやすくなるために、県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛2階に移転し2年が過ぎました。業務も研修会の開催や精神保健福祉に関する相談・啓発活動等内容を拡大してきました。

最近ではいろいろな事象・事件がおこる度「こころの健康」がとりあげられるようになってきました。そのため早期の“こころのケア”への対応が求められてきております。それだけ「こころの健康」に関心が高くなってきています。今後ますます不登校、摂食障害など児童・思春期の若者、薬物依存症者の低年齢化、中年期のストレス関連障害や、災害や事故による心的外傷後ストレス障害(P.T.S.D)、さらに老年期には痴呆性疾患が増え続けることが予想されます。「こころの健康」は老若男女を問わず全ての人に関わるもので、当事者の問題としてのみでなく、家族関係、社会病理など複雑多岐な要素があります。精神保健福祉センターも、予防(病気にならないようにする)啓発(こころの健康に関心を持つ・病気への偏見をもたない等)と維持(健康を保つこと病気を悪化させないこと)増進(より健康になること)を図ることが、重要な役目となってきています。急激に変化する現代社会を反映し、健康問題をとってもその成り立ちは多様です。医療・保健・福祉・教育など、幅広い機関との連携がますます重要となります。各関係機関と共に、果たすべき役割を考えていきたいと思っております。

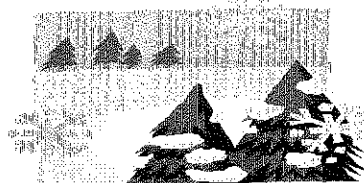
3月には第3回目の「わかやま こころのフェスティバル」を開催します。共に和歌山の精神保健福祉について考えていく、機会にしたいと計画を進めています。

今後もよろしくお願いいたします。

今回は、和歌山県でも県庁に一番遠い保健所からの報告です！

## 新宮保健所及び管内のごあんない

新宮保健所は紀伊半島の南東端にあり、三重県境まで車で10分の所にあります。新宮市、那智勝浦町、太地町、熊野川町、本宮町、北山村を管轄し、管内面積約700km<sup>2</sup>、管内人口約6万4200人です。海岸部は磯浜海岸が連続して形成され、天然の良港に恵まれ漁業が盛んです。山間部は那智の滝や瀨峡をはじめ奇岩景勝に恵まれ、一部吉野熊野国立公園にも指定され、山峡の中に小さな集落が点在しています。



### 保健所の活動

#### \* ところの健康相談

嘱託医による精神科医療や社会復帰、痴呆、アルコール、その他ところの悩み全般に関する相談を受けています。

定例相談： 第2火曜日、第4木曜日 14:00~16:00

相談員、保健婦による相談は随時受け付けています。

#### \* 訪問

ご本人やご家族の希望、主治医からの依頼などに基づき、担当保健婦や相談員による家庭訪問を行い、療養や生活への相談援助、支援を行っています。必要に応じ、主治医や、市町村保健婦、生活保護担当者、作業所指導員などとの同行訪問も実施しています。

#### \* デイケア

通院中の精神障害者の方を対象に、社会参加や仲間づくりを目的に、月2回(毎月第1・3火曜日 10:00~14:30)レクリエーションや調理実習を中心に実施しています。3ヶ月に1度は熊野川町・本宮町の山手方面で行っています。年間の計画は年2回、参加者とスタッフの話し合いで決めており、毎回参加される方や利用したいメニューの時だけ参加される方など利用形態は様々です。

#### \* 家族教室

精神障害者の家族の方を対象に、医師や施設職員、地域家族会員、保健所スタッフの講義や話し合いを通じ、病気や障害の正しい知識や対応の仕方、制度の活用について学ぶことにより、家族自身が元気になり精神障害者の社会参加の力強い協力者となることを目的に実施しています。平成12年度は那智勝浦町において5回実施しました。

#### \* 精神保健福祉ボランティア講座

精神障害者が地域に根ざした社会参加ができるよう理解、支援する人材を育成するため、平成11年度からボランティア講座を実施しています。平成11年度は新宮市の民生委員さんや福祉委員さんの他、現に何らかのボランティア活動に携わっている方を中心に講座への参加がありました。講座の卒業生のうち数名がデイケア活動に参加しており、他のボランティア仲間にも参加の呼びかけを行ってくれるなど、少しずつ輪が広がっています。

### 管内の状況

#### \* 医療機関

- ・精神科病院(1)
- ・精神科クリニック(1)

\*小規模作業所 ・どんぐりの家（新宮市）

作業主体の作業所が多い中、どんぐりの家では、就労している仲間も多いことから、仲間同士の交流や自助活動・憩い・休息・レクリエーションの場として約10名の仲間が利用しています。月に2～4回は、お茶の袋詰め作業を行い地域のバザーなどで販売しています。

\*授産施設

管内には精神障害者の方のための授産施設はありませんが、平成11年度から知的障害者授産施設での相互利用制度が始まり、現在、知的障害者通所授産施設いなほ作業所（那智勝浦町）において精神障害者の方の利用を受け入れてもらっています。

\*家族会 ・どんぐり会（新宮市） ・ひまわり会（那智勝浦町）

どんぐり会では家族同士の支え合いや交流を中心に、作業所づくり（どんぐりの家）や福祉制度の充実への働きかけなど様々な家族会活動に取り組んでいます。ひまわり会は平成10年に活動を開始し、学習や家族同士の交流を中心に月に1度例会をもっています。

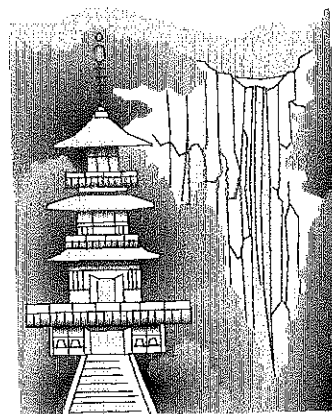
\*断酒会

新宮三熊野断酒会友綱 新宮支部 例会 毎週月曜日 午後6時半から  
// 那智勝浦支部 例会 毎週金曜日 午後6時半から

古座町を拠点に活動を行っていた新宮三熊野断酒会友綱が、平成11年8月から那智勝浦町において、また、平成12年4月から新宮市においてそれぞれ支部を発足、週に1度の例会や会員による家庭訪問などを通じ、アルコール依存症からの回復を支えています。

社会資源も少なくマンパワーも少ない地域ですが、少しずつ理解者を増やし、今ある様々な他分野の資源や人材なども掘り起こし、有機的に結びつける作業を行いながら、誰もが住みやすい、安心して暮らせる町づくりを目指し、仲間・家族・地域・関係機関の方々とともに一步一步、歩んでいます。

ご指導、ご支援よろしくお願ひします。



（文責 東牟婁振興局健康福祉部（新宮保健所）生活福祉課）

## 研修会の報告

精神障害者介護支援専門員（ケアマネジャー）養成研修第3日目が11月6日（月）に京都府園部保健所の三品桂子精神保健福祉相談員をコーディネーターに開催し、47人に修了証を交付しました。修了証を手にして「どこまでやれるんだろう。」という感想も受講者からは聞こえてきましたが……。

同じ11月には市町村精神保健福祉担当者研修会が8日（水）・13日（月）の2日間で開催され、20名の参加がありました。日程が離れていて参加しにくかったという感想もありましたが、事務職の方の参加もあり熱心に質問等が飛び交っていました。平成14年度からの事務移管もあり、今後のセンターの研修も内容を検討していきたいと思っています。

## 研修会のお知らせ

### 平成12年度嗜癮関連問題研修（薬物関連問題研修）

目的：薬物問題は薬物依存・中毒者の精神障害に対する治療の問題のほか、薬物の使用をやめさせる動機付けが難しく、家庭の問題を抱えていることが多いことなどから、複雑なものが少なくありません。さらに、これらの乱用は低年齢化してきていることが問題視されています。我が国の薬物乱用・依存をめぐる情勢から、今後さまざまな分野において、薬物依存問題への対応は、重要性を増してくると考えられます。今回の研修では、覚醒剤やシンナーを中心とした薬物関連問題を基礎から学び、薬物依存の概念から、その治療までを学習します。

日時：平成13年2月20日（火） 10時30分～16時30分  
場所：精神保健福祉センター（ビッグ愛204会議室）

薬物依存の基礎的知識	宋クリニック	麻生 克郎先生
薬物乱用の低年齢化について	泉州病院	狩山 博文先生
薬物依存症者の治療について	久米田病院	藤原 永得先生

対象：医師、保健婦士、看護婦士、精神医学ソーシャルワーカー、学校教員、警察関係者など、薬物依存症者の治療、回復支援に携わるもの。

参加費：無料

申し込み：精神保健福祉センターあて申し込む

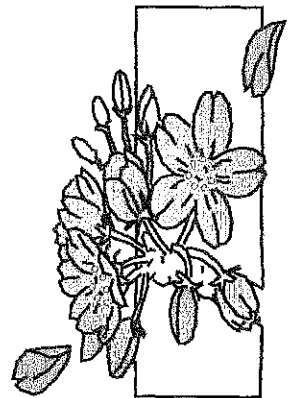
### わかやまこころのフェスティバル2001

こころに障害を持つ人の福祉の増進及び県民のこころの健康の向上を図ることと、こころに障害を持つ人たちに對する誤解、偏見の打破をめざして下記の内容で

「こころのフェスティバル」を開催します。

開催日時：平成13年3月25日（日）10:00～16:00

開催場所：岩出町総合保健福祉センター（あいあいセンター）



★講演会 PART1 10:30～12:00

筑紫哲也NEWS23で昨年2月に紹介された、北海道の精神障害者グループ「べてるの家」より当事者、スタッフの講演

PART2 13:30～15:00

新聞、テレビで活躍されている精神科医・町沢静夫先生による昨今の少年犯罪から見えてくる思春期の問題をテーマにした講演を予定。

★その他、参加各団体による、展示、物品販売、100円ショップなど。

講演会に関しては申し込みが必要です。

電話受付 和歌山県精神保健福祉センター073-435-5194

#### 編集雑記

1月号の発行が遅れ関係者の方にはご迷惑をかけました。2月には編集技術を少しでも磨こうと勉強に行かせてもらう予定です。次回はもう少し工夫が見られるかもしれません。ご期待下さい。3月の末でお忙しいと思いますが、「わかやまこころのフェスティバル2001」にもぜひご参加下さい。お待ちしております。 編集長M